

令和7年度

小石川淑徳学園高等学校

第1回一般入試

試験問題

英語

(50分・100点)

2月10日(月)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. 問題は1～7まであります。ページの抜けや、印刷がかすれて見えにくいところがある場合は、手をあげて申し出てください。
3. 問題冊子・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。
4. 解答は、解答用紙の指定された場所に記入してください。
5. 試験終了の合図まで静かに着席しててください。
6. すべて、監督の先生の指示にしたがってください。
7. 問題冊子・解答用紙ともに回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1 リスニングテスト（放送による指示に従って答えなさい。）

【問題 A】 次の A～D の中から適するものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

<対話文 1 >

- A. It was summer.
- B. It was spring.
- C. It was winter.
- D. It was fall.

<対話文 2 >

- A. She is looking for the station.
- B. She is looking for the exit gate.
- C. She is looking for the entrance gate.
- D. She is looking for the ticket machine.

<対話文 3 >

- A. She used her IC card.
- B. She used her debit card.
- C. She used her point card.
- D. She used her credit card.

【問題 B】 <Question 1>では、質問に対する答えを次の A～D の中から選んで、その記号を答えなさい。 <Question 2>では、質問に対する答えを英語で書きなさい。

<Question 1 >

- A. It was held in the museum.
- B. It was held in the amusement park.
- C. It was held in the park.
- D. It was held in the food stalls.

<Question 2 >

10 秒程度、答えを書く時間があります。

2 ( ) に適する語を一つ選んで書きなさい。

- (1) You ( was / are / were ) busy last week.
- (2) She usually ( go / goes / went ) to her office by train.
- (3) The baby is ( smileing / smiling / smiled ) at me.
- (4) John can ( plays / play / played ) the piano.
- (5) This soup is ( hottest / hotter / as hot as ) than that soup.
- (6) When did you finish ( did / doing / to do ) your homework?
- (7) Mr. Smith left Osaka ( in / to / for ) New York.
- (8) I have a friend ( who / whose / where ) lives in Hokkaido.
- (9) Chinese ( speaks / spoke / is spoken ) by many people.
- (10) This is the picture ( took / taken / taking ) by him.

3 次の ( ) 内に適語を入れて、日本文に合う英文を完成させなさい。

- (1) あなたは彼の誕生日を覚えておくべきです。  
You ( ) remember his birthday.
- (2) 彼はあのとき手紙を書いていた。  
He ( ) writing a letter then.
- (3) あなたの母はあなたの父と同じ年である。  
Your mother is ( ) old as your father.
- (4) その車は毎週私の兄によって洗われている。  
The car is ( ) by my brother every week.
- (5) 2人の女の子と3人の男の子がいる。  
There are two girls and three ( ) .
- (6) 私は英語を勉強するためにその映画を見ている。  
I watch the movie ( ) study English.

(7) 私たちはビデオゲームで遊ぶことを楽しんだ。

We enjoyed ( ) video games.

(8) あなたはいつも昼食に何を食べていますか？

( ) do you usually eat for lunch?

(9) 私はやることがたくさんある。

I have many ( ) to do.

(10) 私は本を読んでいる女の子を知っている。

I know the girl ( ) a book.

4 次の日本語の意味に合うように ( ) 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。  
ただし、文頭にくる語も小文字にしてあります。

(1) 私はあなたがどこにいるか知らない。

( don't / are / know / where / I / you ) .

(2) 美術館までの道のりを教えてくださいませんか？

( tell me / can / how to get / you / to the museum ) ?

(3) どれくらいの頻度で朝食を作りますか？

( cook / often / do / you / how / breakfast ) ?

(4) 今までシドニーに行ったことはありますか？

( been to / have / ever / Sydney / you ) ?

(5) 私は私の友人にもう一度会いに行く予定です。

( am / I / my friend / going / again / to see ) .

5 次の Aki と日本に留学中の Mike の会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

Aki: Our train is late. We have to wait. Let's sit on the chairs over there.

Mike: OK.

Aki: What are you reading, Mike?

Mike: Oh, a book about Japanese food. ①There are a lot of beautiful pictures in it. Look at this! ②(want / this food / to eat / I).

Aki: That's *chirashi-zushi*. My mother cooks very well. She can make ③it for you next Sunday. How about having lunch at my house next Sunday?

Mike: I'm sorry, but I can't. My family will come to see me from Australia next Saturday. So I'm going to show them around the city on Sunday.

Aki: Really? Well, I have a good idea. Can you come to my house with your family in the evening after seeing the city? Let's eat Japanese food together with my family. Of course, you can eat *chirashi-zushi*.

Mike: That's exciting! My family will be happy, too.

Aki: Will all your family come to Japan?

Mike: Yes. My parents and my sister.

Aki: We'll have a big party! My mother and father will cook dinner, and I'll help them. I can't wait!

Mike: That will be fun! Thank you, Aki.

Aki: You're welcome.

Mike: Oh, our train is coming. Let's go, Aki.

(1) 下線部①とほぼ同じ内容の文になるように、( ) に適する語を書きなさい。

The book ( ) a lot of beautiful pictures.

(2) 下線部②の ( ) 内の語を正しく並べかえなさい。

(3) 下線部③it が示すものを日本語で答えなさい。

(4) 次の質問に対してあなたの意見を書きなさい。

What did you do on New Year's Day with your family?

6 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

In December 2013, *washoku* became an \*‘‘Intangible Culture Heritage.’’ What makes *washoku* special? The Japanese government gives four reasons.

First, Japan has four distinct seasons and choosing fresh food in each season is important. Enjoying the taste of each ingredient is important too, and in *washoku* the taste of the individual ingredients is always clear.

Second, *washoku* is very healthy. The graph below shows shoes that *washoku* contains many healthy ingredients. An average Japanese meal has a healthier nutritional balance than an average European or American one. And because of this, ①(longer / Japanese people / to live / tend).

Third, there are special traditional foods for annual events. For example, Japanese people often eat black beans (*kuro mame*) at New Year. ‘‘Mame’’ means ‘‘hard-working’’ in addition to ‘‘bean.’’ Eating beans at New Year is a symbol of being healthy and working hard throughout the year.

Fourth, *washoku* looks good as well as tasting good. The cook thinks carefully about the color balance between the different items of food on the dish. He also decorates the dish with items from nature, for example, cherry blossoms in spring, or red or yellow leaves in autumn. Choosing the plates, bowls and dishes is important, too.

②The seasons and Japanese customs make *washoku* special. *Washoku* is indeed an

“Intangible Cultural Heritage” of Japan.

(注) \* Intangible Culture Heritage : 無形文化遺産

(1) 下線部①が「日本人はより長く生きる傾向がある。」という意味になるように、( ) 内の語句を正しく並べかえて全文を書きなさい。

(2) 下線部②の英文を日本語にしなさい。

(3) 本文の内容に合うものは○、合わないものは×を解答用紙に記入しなさい。

1. 日本には四季があり、それぞれの季節に合った食材を選ぶことは大切である。
2. 和食は、ヨーロッパやアメリカの食事と同じぐらい健康である。
3. 和食は味だけでなく見た目もよい。

(4) 本文の内容に合うように、( ) に適切な語を書きなさい。ただし、与えられた文字で始めること。

1. Japanese government (g ) four reasons to make *washoku* special.
2. “Mame” means “ (b ) ” and “hard-working”.
3. The cook cares about the color balance of different items of food and decorates the dish with items from (n ) .

7 次の問いに、あなた自身の答えとその理由を英語で書きなさい。英文は、1文でも2文以上になってもよい。あわせて10語以上の文章にすること。

Which do you like better, playing sports or watching sports?

<b>1</b>	A	1		2		3	
	B	1		2			

<b>2</b>	(1)		(2)		(3)		(4)	
	(5)		(6)		(7)		(8)	
	(9)		(10)					

<b>3</b>	(1)		(2)		(3)		(4)	
	(5)		(6)		(7)		(8)	
	(9)		(10)					

<b>4</b>	(1)							
	(2)	?						
	(3)	?						
	(4)	?						
	(5)							

<b>5</b>	(1)		(2)				
	(3)						
	(4)						

<b>6</b>	(1)							
	(2)							
	(3)	1		2		3		
	(4)	1	g	2	b	3	n	

<b>7</b>	

受験番号	氏名	

1	A	1	A	2	D	3	A	(2×5)
	B	1	C	2	She watched a dance performance.			

2	(1)	were	(2)	goes	(3)	smiling	(4)	play	(1×10)
	(5)	hotter	(6)	do	(7)	for	(8)	who	
	(9)	is spoken	(10)	taken					

3	(1)	should	(2)	was	(3)	as	(4)	washed	(2×10)
	(5)	boys	(6)	to	(7)	playing	(8)	What	
	(9)	things	(10)	reading					

4	(1)	I don't know where you are.							(3×5)
	(2)	Can you tell me how to get to the museum?							
	(3)	How often do you cook breakfast?							
	(4)	Have you ever been to Sydney?							
	(5)	I am going to see my friend again.							

5	(1)	has	(2)	I want to eat this food				(1) 2点 (2) 3点 (3) 3×2=6
	(3)	ちらし寿司						
	(4)	(例) I ate osechi with my family and received otoshidama.						

6	(1)	Japanese people tend to live longer							(1) 4点 (2) 4点 (3) 2×3=6 (4) 2×3=6
	(2)	(例) その季節や日本の習慣は和食を特別にさせる。							
	(3)	1	○	2	×	3	○		
	(4)	1	gives		2	bean		3	

7									/ 10

受験番号	氏名	/ 100

令和7年度  
小石川淑徳学園高等学校  
第1回一般入試  
試験問題

数 学

(50分・100点)

2月10日 (月)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. 問題は①～⑤まであります。ページの抜けや、印刷がかすれて見えにくいところがある場合は、手をあげて申し出てください。
3. 問題冊子・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。
4. 解答は、解答用紙の指定された場所に記入してください。
5. 試験終了の合図まで静かに着席してください。
6. すべて、監督の先生の指示にしたがってください。
7. 問題冊子・解答用紙ともに回収します。

受験番号

氏名



□1 次の問いに答えなさい。

(1)  $(3-5^2)-(-2)^3$  を計算しなさい。

(2)  $\frac{5x-y}{4} - \frac{4x+2y}{3}$  を計算しなさい。

(3)  $(\sqrt{7}+2)^2$  を計算しなさい。

(4)  $x^2-x-20$  を因数分解しなさい。

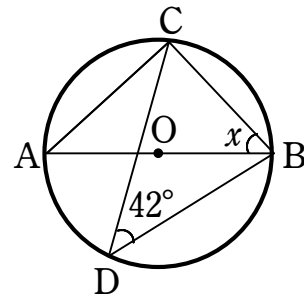
(5)  $3x - 5(x - 2) = 7x + 28$  を解きなさい。

(6)  $\begin{cases} 3x + 2y = -11 \\ 2x + 3y = -14 \end{cases}$  を解きなさい。

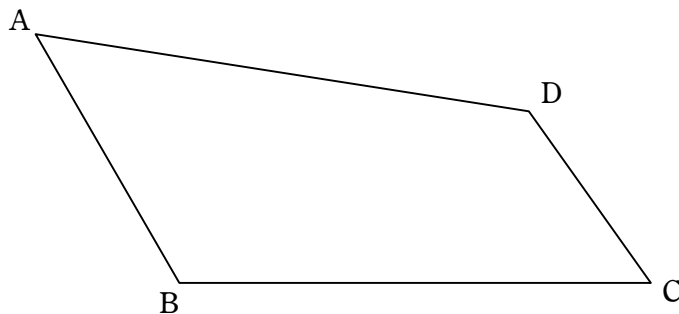
(7)  $x^2 - 3x - 9 = 0$  を解きなさい。

- (8) さいころを2回投げ、1回目に出た目を十の位の数、2回目に出た目を一の位の数として、2けたの数を考える。この2けたの数が4の倍数になる確率を求めなさい。

- (9) 次の図において、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



- (10) 次の図のような四角形  $ABCD$  がある。辺  $AD$  上にあり、辺  $AB$ 、辺  $BC$  までの距離が等しい点  $P$  を作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。



② 次の文章は中3の受験生はるこさんと数学の先生の授業中の会話である。  
文章を読み、次の問いに答えなさい。

先生 : 今回で二次方程式の授業は最後になりますが、皆さん理解できましたか。

はるこ : 先生、二次方程式は因数分解をして解けば良いんですよね。

先生 : 必ずしも因数分解できるとは限りませんよ。

はるこ : ああ確かに、解の公式を使って解く問題もありますよね。

先生 : 少し確認してみましょうか。解の公式は覚えていますか。

$$ax^2 + bx + c = 0 \quad \dots \star \text{の解を教えてください。}$$

はるこ :  $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$  です。

先生 : 次の二次方程式を解の公式を用いて解いてみましょう。

ア. $2x^2 - 3x + 1 = 0$	イ. $2x^2 - 4x + 2 = 0$	ウ. $2x^2 - 3x + 4 = 0$
---------------------------	---------------------------	---------------------------

はるこ : (1) 先生、 $\sqrt{\quad}$ の中身がマイナスになるのを私は初めて見ました。

先生 :  $\sqrt{\quad}$ の中はいつもプラスの値です。マイナスになってしまうものは、 $\sqrt{\quad}$ の中に書くことができません。

はるこ : では、この時の解は、どうすれば良いのでしょうか。

先生 : この時は、そもそも  $\sqrt{\quad}$  をかくことができないので、解は存在しないと考えましょう。

はるこ : それで良いのですね。納得しました。そう考えると、  
解の個数は0個のもの、1個のもの、2個のものと3種類ありますよね。

先生 : そうなんです。

実はこの3種類は  $\sqrt{\quad}$  の中の値によって、判断ができるんです。

はるこ : すごいですね。  $\sqrt{\quad}$  の中というと、 $\star$  のときであれば、 $b^2 - 4ac$  ですよね。

先生 : そうです。  $\sqrt{\quad}$  の前には、 $\pm$  があるから、 $b^2 - 4ac$  がプラスの値になれば、  
解は2個あることが分かります。

はるこ :  $b^2 - 4ac$  が0の時は、どうなりますか。

先生 : 解の公式の分子は  $-b \pm 0$  となるので、2つではないですね。

解は  $x = -\frac{b}{2a}$  となるから、1個ですね。解が0個の時はさっき話しましたね。

1問だけ解の個数を確認してみましょう。

$x^2 - 3x - 5 = 0$  この二次方程式の解の個数は何個でしょうか。

はるこ : 計算をするので、少し待ってください。

$$(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-5) = 29 \quad \text{なので、2個です。}$$

先生 : 素晴らしいですね。合っていますよ。

はるこ : 先生、なんだか数学って楽しいですね。高校にいったら勉強頑張りたいと思います。

(A) 下線部(1)からはるこさんと先生はある二次方程式についての会話を始めている。いったいどの問題についてか。ア、イ、ウのうちから1つ選びなさい。

(B) 次の二次方程式について、正しい解の個数の組み合わせを①～⑨のうちから選びなさい。

エ.	オ.	カ.
$4x^2 - 12x + 9 = 0$	$3x^2 - x + 60 = 0$	$13x^2 + 19x - 13 = 0$

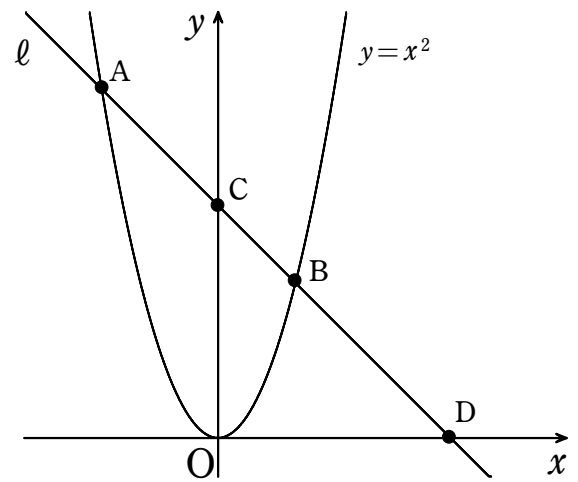
解の個数

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
エ.	0個	0個	0個	0個	1個	1個	1個	2個	2個
オ.	1個	2個	0個	1個	2個	0個	2個	0個	1個
カ.	2個	1個	2個	1個	2個	2個	0個	1個	0個

(C) 次の二次方程式の解が2個となるような  $m$  の値を1つ答えなさい。

$$x^2 - 4x + m = 0$$

- 3 右の図のように、関数  $y=x^2$  のグラフと直線  $l$  との交点を  $A, B$  とする。  
 $A, B$  の  $x$  座標がそれぞれ  $-3, 2$  のとき、次の問いに答えなさい。

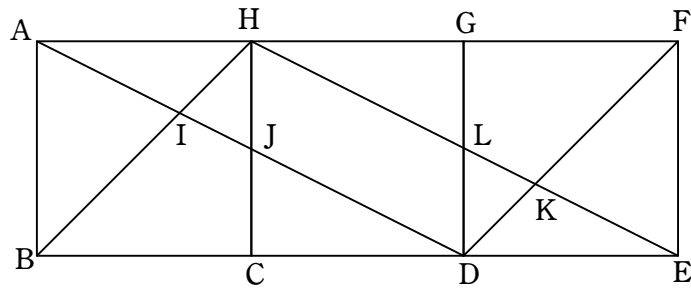


(1) 直線  $l$  の式を求めなさい。

(2)  $\triangle AOB$  の面積を求めなさい。

(3) 直線  $l$  と  $y$  軸,  $x$  軸との交点をそれぞれ  $C, D$  とする。  
このとき,  $AC : CB : BD$  を求めなさい。

- 4 1辺が6 cm の正方形を次の図のように3個並べる。ADとHB, HCの交点をそれぞれI, J, HEとGD, FDの交点をそれぞれL, Kとする。このとき, 次の問いに答えなさい。



- (1)  $\triangle AHI \sim \triangle DBI$ を次のように証明した。空欄にあてはまるものを答えなさい。

(証明)

$\triangle AHI$ と $\triangle DBI$ において

正方形より

$AH \parallel BD$

平行線の ( ア ) は等しいので

( イ ) =  $\angle BDI$  ... ①

( ウ ) は等しいので

$\angle AIH =$  ( エ ) ... ②

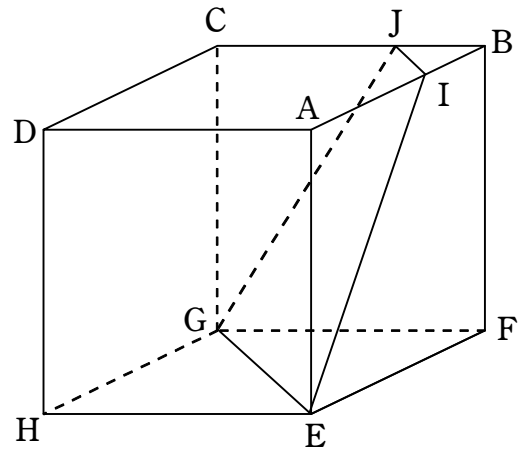
①②より ( オ ) ので

$\triangle AHI \sim \triangle DBI$  終

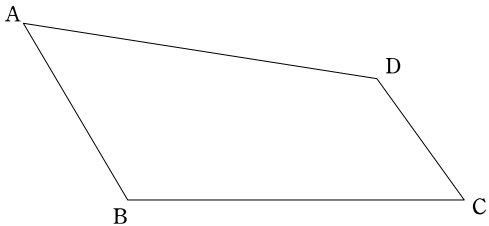
- (2) HJの長さを求めなさい。

- (3) 四角形DIHKの面積を求めなさい。

- 5 1辺が6 cm の立方体がある。  
 辺AB, CBを2:1に分ける点をそれぞれI, Jとする。  
 立方体を平面IEGJで切断したとき、  
 次の問いの答えなさい。



- (1) BIの長さを求めなさい。
- (2) 立体BIJ-FEGの体積を求めなさい。
- (3) 立方体と立体BIJ-FEGの体積比を求めなさい。

1	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	
	(7)	
	(8)	
	(9)	
	(10)	

2	(A)	
	(B)	
	(C)	

3	(1)	
	(2)	
	(3)	

4	(ア)	
	(イ)	
	(1) (ウ)	
	(エ)	
	(オ)	
(2)		
(3)		

5	(1)	
	(2)	
	(3)	

評点	
----	--

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1	(1)	$-14$
	(2)	$\frac{-x-11y}{12}$
	(3)	$11+4\sqrt{7}$
	(4)	$(x+4)(x-5)$
	(5)	$x=-2$
	(6)	$x=-1, y=-4$
	(7)	$x=\frac{3\pm 3\sqrt{5}}{2}$
	(8)	$\frac{1}{4}$
	(9)	$x=48^\circ$
	(10)	

2	(A)	ウ
	(B)	⑥
	(C)	$m < 4$ であればよい

3	(1)	$y = -x + 6$
	(2)	15
	(3)	3 : 2 : 4

4	(ア)	錯角
	(イ)	$\angle HAI$
	(1) (ウ)	対頂角
	(エ)	$\angle DIB$
	(オ)	2組の角がそれぞれ等しい
	(2)	3 cm
	(3)	$24 \text{ cm}^2$

5	(1)	2 cm
	(2)	$52 \text{ cm}^3$
	(3)	54:13

評点

受験番号	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
------	----------------------	----	----------------------

令和7年度  
小石川淑徳学園高等学校  
第1回一般入試  
試験問題

国語

(50分・100点)

2月10日(月)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. 問題は【1】～【5】まであります。ページの抜けや、印刷がかすれて見えにくいところがある場合は、手をあげて申し出てください。
3. 問題冊子・解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入してください。
4. 解答は、解答用紙の指定された場所に記入してください。
5. 試験終了の合図まで静かに着席しててください。
6. すべて、監督の先生の指示にしたがってください。
7. 問題冊子・解答用紙ともに回収します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--



【1】 次の——線部の漢字の読みを答えなさい。

- ① 力の均衡が崩れる。
- ② 美しい音楽の旋律。
- ③ 顕著な例を挙げる。
- ④ 全体像を把握できない。
- ⑤ 専門家が警鐘を鳴らす。

【2】 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 春の山をサンサクする。
- ② ドローンをソウジュウする。
- ③ 資料をユウビンで送る。
- ④ 家から学校までをオウフクする。
- ⑤ キボの大きい工事が始まる。

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

白石弥生は北海道の小さな村にある生田羽中学校の分校へ通う三年生で、分校には弥生の他に一年生の松本憲太・江崎学・手塚みなみ・柏木亮介の四人の生徒が通っていた。柏木亮介は一月に持病の悪化によって東京で入院したが、教員である林のところには元気になって三月十一日(東日本大震災発生日)の夕方に東京デイズニールランドでバレードを見たという嘘の内容の手紙が卒業式の朝に届いた。本文は東日本大震災の四日後に卒業式が開催された場面から始まる。

「ああ、戻ってきました」

佐々原先生が窓に向けた目を細めて、言った。林も顔を上げ、まだ雪がたつぷり残る校舎の前にワゴンが停車するのを認めた。

今日は卒業式だった。朝九時に、二年生の白石弥生と、送り出す一年生三人は、後藤主任の白いワゴンに乗り、林の車の助手席には佐々原先生が座って、分校総勢で生田羽中学校へと向かった。卒業式は本校で行われるからだ。

1 送辞は江崎学が、答辞は弥生が読んだ。一年生で送辞を任されるのは、林も聞いたことがなかったが、それだけ学が買われているということだろう。

それからもう一つ。

来年度から分校は本校と統合されてなくなる。

送辞と答辞の役割が二つとも分校の生徒にあてがわれた理由は、そこにもあるに違いない。

弥生と学は立派に役目を果たした。特に弥生は、本校の生徒、父母らの前でも堂々としていた。左手の甲に巻かれた真っ白な句帯の下に潜む火傷の痛みも、まったく感じさせない出来だった。

彼女は三月上旬、生田羽村からは通学できない、離れた都市の高校を受験した。

林が下宿する※1 久松医院の老医師は、「2 村の女の子としては、近年なかった選択だね」と言っていた。後藤主任や佐々原先生からも、二年生までは隣の公立高校へ行く様子だったことを聞いた。弥生が急に勉強したのは、六月くらいからだ。心境の変化の理由は、林にはわからないし、問いたらず3 無粋もしたくはな

い。ただ、彼女の努力が明日判明する合格結果で、報われていてほしいとは心から願う。

「行きましようか」

佐々原先生に促され、林は手紙を封筒に入れ直し、一年生の教室に向かった。ゆつくり走る後藤先生のワゴンを置き去りに、分校にとつて返してすぐ、一年生の教室のストーブに焚ける限りの※2コークスを放りこんではみたが、まだ完全に暖まるには時間が足りなく、教室内はひんやりとしていた。それでも、この程度の温度ならものともしない子どもたちだ。彼らはもつと凍えそうな道をしっかりと歩いて、この分校に通っていたのだ。

一月のあの日までは、亮介も。

林は教壇上から、Wの文字——カシオペヤ座のように配置されている五つの机に目をやる。その中の一つ、4主を失った席を見つめていると、先ほど読んだ手紙の文面が思い出された。

林はひっそりと首を振り、痛みを覚えた胸に手を当てる。

それから、懸命に熱を生み続ける※3ダルマストーブを見やる。5煙突がしつかりと壁につきささり、上には水の張った金だらいをかけ、どつしりと力士のように揺るぎなく鎮座しているストーブが、先日のあるときばかりは、みしりとゆがみが生じたような音を発した。ちょうど社会科学の授業が終わる頃合いだった——。

賑やかな声が近づいてきて、教室の戸が開かれた。

「わあ、暖けえ」

松本憲太は入ってくるなり明るく声をあげ、※4オーバーを脱いで教室後方のフックにかけると、着席の前にストーブに両手をかざした。憲太の後には字が続いた。学はオーバーとマフラーを取ると、制服のポケットからきれいにアイロンの当てられたハンカチを取り出し、曇った眼鏡を顔から外してレンズを拭いた。

手塚みなみの頬の赤味は、点在するにきびのせいだけではない。一年前に比べるとやや長めに整えられた髪の毛を耳にかけると、その耳たぶもすっかり赤かった。

最後に後藤主任と、卒業証書が入った筒と花束を抱えた弥生が姿を見せた。6彌生はちらりと林に視線を送り、軽く会釈をして、窓際の席に落ち着いた。主任に教壇の中央を譲り、林は廊下側前方に佐々原先生と共に立つ。

本校での式が終わった後、分校のほうでも卒業生を送り出す、ささやかな式を設ける。

ずっと、今までもそうしてきたのだそうだ。後藤先生の祝いの言葉を微笑みながら聞いた弥生は、「一言いいかい？」と促されて、教壇に立った。三人の一年生と三人の教師の視線を一身に受けた彼女は、答辞を読んだときよりもさらに落ち着いて林の目に映った。

「私は小学校一年生からずっと一人でした」

弥生は一年生と教師を順に見渡しながら、そんなふうに口を切った。

「田舎の分校で、同級生もいない状態を、嫌に思ったことはいくらでもあります。

一人じゃなかったらどんなにいいか、こんなふうじゃなかったのにと、7この村のこの年に生まれたことが悔しかったです。でも」

ストーブの中でコークスが爆ぜる。林もみんなも、いったん言葉をとめた弥生に眼差しをそそぐ。

「でも、『あること』を転機に、一人なら一人でいいと開き直ることができました。受験を頑張ろうと思ったのも、開き直れたからです。その『あること』は、今思い出してもあまり愉快な出来事じゃないけれど、もし私が高校に受かることができたら、『あること』という経験も、私にとっては必要だったと、大事な宝物のように思えるかもしれません」

だから——弥生はそこで床に視線を落としてから、また毅然と前を向いた。

「明日、私は必ず合格して、8一人でこの村を出ていきます」

少しの間をおいて、真つ先に手を叩いたのはみなみだった。憲太と学もすぐに続いた。六人の大きな拍手に包まれて、弥生は包帯の左手に右手を重ね、壇上で一礼をした。

「先生、辞めるんですか？」

弥生がふいに訊いてきた。いよいよ教室を出ようとするときだった。他の生徒と先生は、見送りのためにいち早く玄関のほうへ向かっていて、林はいつとき人が離れるストーブの具合を確認していたのだった。

林は「どうしてそう思うんだい？」と訊き返した。すると弥生は「先生、ここに来

たときすぐにでも辞めたそうだったから」と答えた。

真剣に向き合おうとした矢先、弥生にそれまでのいいかげんさを指摘され、落ち込んだことを思い出して、林は言い訳もできず苦笑いする。弥生はマフラーをしつかりと結わえた。

「私、最初のころの先生、嫌いでした。適当で、村のことを見下している感じがして」

林は前髪と額の境目を掻いた。ぐうの音も出ない。9 弥生の目は正しいのだ。

「でも、放課後の本校の講習にずっと送ってくれて、助かりました」

弥生はきつちりと頭を下げた。林はまた包帯の手が右手に隠されるさまを見た。

「傷はまだ痛む？」

「もう、だいぶいいです。久松先生も、一週間くらいできれいに治るだろうと言ってくれました」

私が不注意だったんですと、久松医院へ向かう車の中で、弥生は何度も口にした。あのとき、とっさにストローブをなんとかしなくちゃと思って、後藤先生に止められたのに近づいて、そうしたら金だらいの中の熱湯が――。

「私の火傷なんて」

全然大したことないと呟き、弥生はうつむき唇を噛んだ。

ストローブに熱せられた、湯を満たした金だらいが、小さな音を立てた。

手の火傷によるものではない痛みを、弥生は感じているのだ。それは林も同様だった。弥生ははっと気づいたように林に目を合わせてきた。

「柏木くんから、連絡はありましたか」

「今日、手紙が届いていた」

「そうですか」

マフラーの中で、弥生が良かったと言ったのが微かに聞こえた。

10 そんな彼女を前に、林はまた鈍く痛む心を隠さなければならなかった。

「林先生。一年間、ありがとうございました」

林にそう告げ、弥生は玄関でも一年生と教師一人一人に挨拶をした。分校のみんなが見送る中、まだ雪で白く輝く外界に、弥生は自ら足を踏み出した。背筋の伸びた美しい姿勢の彼女は、迷いのない足取りで去っていった。

(乾ルカ「願いながら、祈りながら」)

※1 久松医院……生田羽中学校の分校の地域にある老医師の病院。

※2 コークス……石炭を加工した燃料。ストローブの燃料として使われた。

※3 ダルマストローブ……球形で鉄製の暖房器具。

※4 オーバー……オーバーコートの略で防寒用の外套。

問一 ——線部1「送辞は江崎学が、答辞は弥生が読んだ」とありますが、弥生と

学が選ばれたのは、どのような理由ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 例年通りに一年生と三年生が担当をすることに加えて、今回の卒業式は分校で行われたことから。

イ 優秀な生徒であることに加えて、通学している分校が本校との統合でなくなってしまうことから。

ウ 江崎学が国内で最優秀な生徒であることに加えて、白石弥生が人命を救った生徒であることから。

エ 卒業や本校との統合で転居をすることに加えて、他の生徒たちに役目を押し付けられたことから。

問二 ——線部2「村の女の子としては、近年なかった選択」とありますが、

どのような選択ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 本校の卒業式で保護者や生徒を前にして答辞の役割を務める選択。

イ 村から近距離にあつて通学しやすい隣の公立校を受験する選択。

ウ 左腕に負った火傷の治療を村にある久松医院において続ける選択。

エ 村から遠距離にあつて通学できない都市の進学校を受験する選択。

問三 ——線部3「無粋」とありますが、本文中で用いられている意味とは異

なるものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 悪趣味 イ 野暮 ウ 洗練 エ 軽率

**問四**——線部4「主を失った席」とありますが、主のことを具体的に示した表現を本文中から探して書き抜きなさい。

**問五**——線部5「煙突がしつかりと壁につきささり、上には水の張った金だらいをかかげ、どししりと力士のように揺るぎなく鎮座しているストーブが、先日のあるときばかりは、みしりとゆがみが生じたような音を発した」とありますが、この表現にはどのような特徴がありますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 擬態語や直喩を用いてストーブの頑丈さや安定感を表現すること  
で、そのストーブが変形するような力が加わる様子を強調している。  
イ 詳細な色や形で熱を発生し続ける教室のストーブを表現すること  
で、分校に通う生徒たちの素直で活発な様子を間接的に描いている。  
ウ 前時代的な象徴としてのストーブが突然に破壊される描写を表現  
することで、年老いた教員である林の不安定な体調を示唆している。  
エ たたえられた水や熱を発する炎で物や形として相反する存在を表現  
することで、分校の生徒たちを待つ悲劇的な未来を暗示している。

**問六**——線部6「弥生はちらりと林に視線を送り、軽く会釈をして、窓際の席に落ち着いた」とありますが、この弥生はどのような人物ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 同級生への友情が厚くてリーダーシップのある明朗な性格の人物。  
イ 何よりも勉学を第一に考えて田舎を引け目を感じてる性格の人物。  
ウ 行動や考えに関して自信がなくて人前では照れやすい性格の人物。  
エ 大人びた考えや行動をして困難にも冷静な態度で臨む性格の人物。

**問七**——線部7「この村のこの年に生まれたことが悔しかった」とありますが、悔しさの内容が端的に示された表現を本文中から十八字で探して書き抜きなさい。

**問八**——線部8「二人でこの村を出ていきます」とありますが、この弥生の言葉は弥生の内面的な成長を表現している部分でもあります。弥生の成長について六十文字以内で説明しなさい。

**問九**——線部9「弥生の目は正しい」とありますが、どのようなことを表現していますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 生徒の成長を感じ取れるようになった状況に喜びながらも、分校の統合を機会として退職した林の状況を見通していたこと。  
イ 地方の村を見くびって分校の教員として熱意もないうまま、退職を考えていた働き始めた頃の林の状況を見通していたこと。  
ウ 生徒に心配させないように身体の痛みを隠していたが、日常的に痛みがある程に悪くなった林の病状を見通していたこと。  
エ 受験勉強に効果的な放課後の本校の講習は遠くて通えなかったが、善意によって続けられた林の送迎を見通していたこと。

**問十**——線部10「そんな彼女」とありますが、弥生はどのような状況ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 震災の被害に心を痛める中で柏木亮介の安否が気になり、手紙が来たこと知ったことで元氣であると理解して安心している状況。  
イ 一年前に東京へ転居をした柏木亮介について忘れていたが、手紙が来たこと知ったことで思い出せた記憶力に感心している状況。  
ウ 東京にいる柏木亮介にも高校の合格について伝えたが、手紙が来たこと知ったことで祝われることを想像して満足している状況。  
エ 林は柏木亮介の状況や弥生のケガに無関心であり、手紙が来たこと知ったことで何通もの手紙が捨てられたと確信している状況。

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

およそ人として社会で生きていくとき、常識はどんな地位にいても必要であり、なくてはならないものである。では、**1**常識とはどのようなものなのだろう。わたしは、次のように解釈する。

まず、何かをするときに極端に走らず、頑固でもなく、善悪を見分け、利益と損失に敏感で、言葉や行動がすべて**※1**中庸にかなうものこそ、常識なのだ。これは学術的に解釈すれば、

「智、情、意(知恵、感情・情愛、意志)」

の三つがそれぞれバランスを保って、均等に成長したものが完全な常識であろうと考える。さらに言葉を換えるなら、ごく一般的な人情に通じて、世間の考え方を理解し、物事をうまく処理できる能力が、常識に外ならない。

人の心を分析して、「智、情、意」の三つに分類するというのは、心理学者の説に基づくものだが、この三つの調和がいらないという者など誰もいないだろう。**空欄A**と情愛と**空欄B**の三つがあつてこそ、人間社会で活動ができ、現実的成果をあげていけるものである。ここでは、常識の原則である、「智、情、意」の三つについて、すこし述べてみたいと思う。

まず**2**「智」とは、人にとってどのような働きをするのだろうか。人として知恵が充分に発達していないと、物事を見分ける能力に不足してしまう。たとえば、物事の善悪や、利益と損失を見抜けないような人では、どれだけ学識があつたとしても、よいことをよいと認めたり、利益になることを利益だと見抜いて、それを採ることができない。学問が宝の持ち腐れに終わってしまうのだ。この点を思えば、知恵がいかに人生に大切であるかが理解できるだろう。しかし、「智」ばかりで活動ができるかという点、決してそうではない。そこに「情」というものがうまく入ってこない点、「智」の能力は十分に発揮されなくなってしまう。

たとえば、**3**「智」ばかりが膨れ上がって情愛の薄い人間を想像してみよう。自分の利益のためには、他人を突き飛ばしても、蹴飛ばしてもまったく

気にしない、そんな風になってしまうのではあるまいか。

もともと知恵が人並み以上に働く人は、何事に対しても、その原因と結果を見抜き、今後どうなるかを見通せるものだ。このような人物に、もし情愛がなければたまつたものではない。その見通した結果までの筋道を悪用し、自分がよければそれでよいという形で、どこまでもやり通してしまう。この場合、他人に降りかかってくる迷惑や痛みなど、何とも思わないほど極端になりかねない。そのバランスの悪さを調和していくのが、「情」なのだ。

**4**「情」は一種の緩和剤で、何事もこの「情」が加わるることによってバランスを保ち、人生の出来事に円満な解決を与えてくれるのである。もしも人間の世界から「情」という要素を除いてしまったら、どうなるだろう。何事も極端から極端に走って、ついにはどうしようもない結果を招いてしまうに違いない。だからこそ、人間にとって「情」はなくてはならない機能なのだ。

しかし、**5**「情」にも欠点があつて、それは瞬間的にわきあがりやすいため、悪くすると流されてしまうことだ。特に、人の喜び、怒り、哀しみ、楽しみ、愛しさ、憎しみ、欲望といった七つの感情は、その引きおこす変化が激しいため、心の他の個所を使ってこれらをコントロールしていかねれば、感情に走り過ぎるといふ弊害を招いてしまう。この時点で、「意志」というものの必要性が生じてくるのである。

動きやすい感情をコントロールするのは、強い意志より他にはない。だからこそ、「意」は精神活動の大本ともいえるものだ。強い意志さえあれば、人生において大きな強みを持つことになる。しかし意志ばかり強くて、他の「情」や「智」がともなわないと、単なる頑固者や強情者になってしまう。根拠なく自信ばかり持って、自分の主張が間違つていても直そうとせず、ひたすら我を押し通そうとする。

もちろん、**6**こんなタイプも、ある意味から見れば尊重すべき点がないでもない。しかし、それでは一般社会で生きる資格に欠け、精神的に問題があつて完全な人とはいえないのだ。強い意志のうえに、聡明な知恵を持ち、これを情愛で調節する。さらに三つをバランスよく配合して、大きく成長させていってこそ、初めて完全な常識となるのである。

現代の人は、よく口癖のように「意志を強く持て」という。しかし意志ばかり強くてやはり困りものでしかない。俗にいう「猪武者いのしひむしゃ（突き進むことしか知らない武者）」のような人間になっては、どんなに意志が強くても社会で役に立つ人物とはいえないのである。

わたしは7世間の人から誤解されがちなところがあつて、「渋沢は、清濁あわせ飲む主義である」とか「よい悪いという区別をつけない男である」とかいわれてしまう。

この前も、ある人が来て、正面からわたしを厳しく問いただした。

「あなたは、日頃から『論語』を、社会で生きるうえでの根本にすえ、また『論語』の教えそのままに行動しようとしている。それなのに、あなたが世話をする人のなかには、まったくあなたの主義と反して、むしろ『論語』に逆らう考えを抱いていたり、社会から非難を受けているような人物もいる。そういう人を、あなたは平気な顔をして近づけ、世間の評判にはまるで無頓着だ。こんなことをしていれば、あなたの高潔な人格を傷つけてしまうと思うが、ぜひ真意をうかがいたい」

なるほど、そう指摘されてみると、いわれていることはもつともだ。自分でも思い当たる節はあるのだが、しかしわたしは、まったく違った観点で、**8**自分の信じる主義に従っている。つまり、社会で生きていくにあたって、自分の栄達はもちろん、社会全体のためにも働き、できるかぎり善行を増やし、世の中の進歩をはかりたいという気持ちを持ち続けてきたのだ。

だからこそ、単に自分の財産とか、地位とか、子孫の繁栄といったものは二の次にし、もっぱら国家社会のために尽くすことを考えている。なので、人のために考え、善行を心がけ、人の能力を援助し、それを適所において使いたいという思いを、はちきれんばかりに持っている。この心がけが、世間の人から誤解を招くことになったそもその原因かもしれない。

わたしが実業界の人間となつて以来、出会う人も年々その数を増している。それらの人々は、わたしの行いを見習つて、おのおの得意なところで事業に励んで欲しいと思つている。そうすれば、たとえその人は自分の利益しか目的にしていなくても、その事業が正しいものである限り結果として国家

や社会のためになるだろう。だからわたしは、そうした志にはなるべく共感を持ち、目的を達成させてやりたいと思つている。

自分の抱く主義がこのようであるから、面会を求めてくる人がいれば、必ず会つて話をするようにしている。知人であろうがなからうが、自分に差し支えがなければ、必ず面会して先方の注文と希望を聞く。そして、来訪者の希望が道徳にかなつていと思える場合は、相手がどのような人間でも、その人の希望をかなえてやる。

しかしわたしの「誰とでも会う」という主義に付け込んで、道理のないことを要求してくる人がいて困ることもある。たとえば、見ず知らずなのに、生活費を貸してくれと申し込んでくる人がいる。親に金がなくなつて、学費が底をつきそうなので、今後何年間か援助して欲しいといつてくる人もいる。また、かくかくの新発明をしたから、この事業がうまくいくまで助けて欲しいとか、ひどいものになると、これこれの商売をしたいので資本を入れてくれ、などといつてくる人もいる。こんな類の手紙が、毎月何十通となく舞い込んでくるのだ。

わたしはその表に自分の宛名がある以上、必ずそれを読む義務があると思つている。だからそういう手紙が来るごとに、必ず目を通し、なるべく自筆で断るようになっている。また、わたしの家に直接やつて来て、この種の希望を述べる者もいる。それらは道理のないものも多いから、わたしはそれらの人と面会し、その道理のなさを説いて断つている。

わたしのこうした行為は、他人から見れば、「何もそういう手紙を見たり、そういう人にすべて会う必要はないのではないか」

となるのかもしれない。けれども、もし面会を謝絶したり、手紙を見なかつたりすれば、わたしの普段からの主義に反する行為になる。だから、雑務が多くなつて、時間をとられるのは困ると自分でも思いつつも、**9**自分の信じることのために余計な手間もかけるわけである。

そして、それらの人々や、知人から頼まれたことで、道理にかなつていないことがあれば、わたしはその人のため、さらには国家社会のために、自分の

力の及ぶ範囲で、力を貸すようにしている。つまり、道理のあることであれば、みずからすすんで世話をしてやる気にもなるのだ。ところが後から振り返ってみると、

「あの人はよくなかった」

「あの事柄は見間違えた」

という結果がないわけではない。

しかし、悪人が悪いまま終わるとは限らず、善人がよいまま終わるわけでもない。悪人を悪人として憎まず、できればその人を善に導いてやりたいと考えている。だから、最初から悪人であることを知りながら世話をしていることもあるのだ。

もともと習慣とは、人の普段からの振舞いが積み重なって、身に染み付いたものだ。このため、自分の心や働きに対しても、習慣は自然に影響を及ぼしていく。悪い習慣を多く持つと悪人となり、よい習慣を多く身につけると善人になるというように、最終的にはその人の人格にも関係してくる。だからこそ、誰しも普段からよい習慣を身につけるように心掛けるのは、人として社会で生きていくために大切なことだろう。

また、**10** 習慣はただ一人の身体だけに染みついていてるものではない。他人にも感染する。ややもすれば人は、他人の習慣を真似したがったりもする。この感染する力というのは、単によい習慣ばかりでなく、悪い習慣についても当てはまる。だから、大いに気をつけなければならぬ。

( 洪沢栄一 守屋淳二訳 『現代語訳 論語と算盤』 )

※1 中庸…過不足がなく調和がとれていること。

※2 論語…古代中国の思想家である孔子と弟子たちの言行をまとめたもの。

問一 ——— 線部1「常識とはどのようなものなのだろう」とありますが、筆

者の常識の解釈を表現した部分を本文中から三十七字で探して最初と最後の五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

問二 **空欄A**と**空欄B**にあてはまる表現をそれぞれ本文中から書き抜きなさい。(ただしA・Bともに漢字二字とする)

問三 ——— 線部2「『智』とは、人にとってどのような働きをするのだろうか」とありますが、智の働きの説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 知恵があるだけで社会的な活動ができて成果をあげられる。
- イ 知恵の発達がないと経済的価値のある宝を腐らせてしまう。
- ウ 知恵は学問的な知識を無駄なく活用するために必要になる。
- エ 知恵と人の心の他の部分である情や意とは一緒に使えない。

問四 ——— 線部3「『智』ばかりが膨れ上がって情愛の薄い人間」とありますが、このような人間の行動を想定した部分を本文中から四十七字で探し、最初と最後の五字を書き抜きなさい。(句読点不要を含む)

問五 ——— 線部4「『情』は一種の緩和剤」とありますが、どのような意味ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人生の出来事の中の幸福と不幸との量的関係を平均化する意味。
- イ 困難が増大しないように人生の出来事を穏やかに処理する意味。
- ウ 過去の世界の常識と時代による変化の間のズレを調整する意味。
- エ 利益に関係がある情報の経済的な価値を感覚的に管理する意味。

問六 ——— 線部5「『情』にも欠点があつて」とありますが、欠点として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 人が生活する世界では「情」が仕組みから失われてしまうこと。
- イ 人間の知恵による行動に対して情愛は影響を与えられないこと。

ウ 強い情愛であっても強い意志によってコントロールされること。  
エ すぐに理性を失って気持ちに従った行動をとりがちであること。

問七 — 線部 6 「こんなタイプ」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 「情」と「智」と「意」がバランスよく備わっているタイプ。
- イ 持ち合わせた複数の感情で激しい心の変化が発生するタイプ。
- ウ 客観的な根拠を用いて自説を探究して社会で活躍するタイプ。
- エ 意志ばかりが強くて頑固や強情な存在になってしまうタイプ。

問八 — 線部 7 「世間の人から誤解されがちなところ」とありますが、筆者が誤解される場所として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者は頑固で強情な上に猪突猛進するような人間であるところ。
- イ 筆者は「意志を強く持て」という現代人風の口癖をもつところ。
- ウ 筆者はものごとの善悪を区別せずに行動する傾向があるところ。
- エ 筆者は様々な人から「論語」について厳しく質問されること。

問九 — 線部 8 「自分の信じる主義」とありますが、どのような主義ですか。六十字以内で説明しなさい。

問十 — 線部 9 「自分の信じることのために余計な手間もかける」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 世の中の常識の正しさを確認するために、あえて多くの人物たちと接点をもって自分へ批判的に意見する者たちと議論を重ねること。
- イ 人や社会のために善良なことを拡大するために、手紙を読んで返事を書いたり面会をして話をしたりと可能な限りの行動をすること。

ウ すべての人間に平等に機会を与えるために、たとえ道理にあわない依頼や個人的な願望であっても必ず全ての人に支援すること。

エ 社会の善悪のバランスを調整するために、善人だけを支援するのではなくて悪人に対しても十分に支援するように心がけていること。

問十一 — 線部 10 「習慣はただ一人の身体だけに染みついていくものではない。他人にも感染する」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 社会や人を良くする意識を重視した筆者の行動によって、周囲で影響を受けた人物たちも同様の意識や行動をするようになること。

イ 初めから承知の上で悪人さえも支援をする筆者の行動によって、悪人が悪人を生み出すような連鎖反応が社会の中で発生すること。

ウ 実業家として個人的な利益を追求する筆者の行動によって、経済的な豊かさを最優先に考えて行動する習慣が世界中に広がること。

エ 何をして世の中から批判を浴びてしまう筆者の行動によって、純粋な子どもたちは批判されないよう行動するようになること。

【5】 次の文章は平安時代後期に堀河天皇に仕えて最期まで看病を続けただけ

けでなく、身分違いの為に密かに天皇を慕っていた藤原長子が記した日記『讀岐典侍日記』について書かれた文章である。後の問いに答えなさい。

「讀岐典侍日記」には、優しかった天皇の※1追憶が幾つも記されている。例えばある冬の早朝、堀河天皇は起きがけに彼女を伴い清涼殿の雪景色を愛でた。長子が寝乱れた姿を恥じらい「もっと見目麗しくあればよかったと、今朝は特に思われます」と言うと、天皇は「いつも美しいと思つて見ているよ」と言つて微笑んでくれた、というように(下巻)。

だが天皇は嘉承二(一一〇七)年六月に発病、長子らの必死の看病も空しく一か月に後※2崩御した。享年二十九。長子はその後自宅で哀悼の日々を過ごしていたが、翌年、堀河天皇の子で僅か六歳の新帝・鳥羽天皇に、心ならずも※3出仕することになる。何を見ても前帝・堀河天皇が思い出されるばかりの再出仕だった。

九月半ばのある日のことである。長子は鳥羽に「※4朕を抱いて、障子の絵を見せよ」とせがまれた。

※5朝餉の御障子の絵、1御覽せさせ歩くに、※6夜の御殿の壁に、明け暮れ目なれておぼえんとおぼしたりし樂を書きて、押しつけさせたまへりし笛の譜の、2押されたる跡の、壁にあるを見つけたるぞ、あはれなる。

3笛の音の 押されし壁の 跡見れば 過ぎにしことは 夢とおぼゆる  
(『讀岐典侍日記』下巻・天仁元年九月十余日)

朝餉の間の襖の絵をお見せして回つていた時だ、二寝室の壁に、堀河天皇がいつも目にして暗記しようと貼り付けておられた、笛の樂譜の跡があった。それを見つけた気持ちは、言葉にならなかつた。

今は亡き天皇の笛の譜が貼られた壁の跡を見ると、過去のことは夢のように思われる。

亡き堀河天皇は笛の名手だったが、今や新天皇の※7内裏となり、樂譜は剥がされた。だが長子は、痕跡を見ただけで樂譜の跡とわかつた。しつかり暗譜しよう

熱心だった堀河天皇を思い出し、涙があふれた。

4かなしくて袖を顔に押しあつるを、あやしげに御覽すれば、心得させまゐらじとて、さりげなくもてなしつつ、「あくびをせられて、かく目に涙の浮きたる」と申せば、「5みな知りてさぶらふ」とおほせらるるに、あはれにもかたじけなくもおぼえさせたまへば、「いかに知らせたまへるぞ」と申せば、「6ほもじのりもじのこと、思ひ出でたるなめり」とおほせらるるは、堀河院の御ことよく心得させたまへると思ふも、bうつくしうて、あはれもさめぬる心地してぞ7笑まるる。(同前)

悲しくて私が袖を顔に押しあてるのを、鳥羽天皇はいぶかしげに御覽になった。気づかれてはならないと思ひ、私はさりげなくこまかして「あくびが出て、目にこんなに涙が浮かびました」と申し上げた。すると天皇は「全部知っています」と仰せになる。有難くも怖れ多くも思つて私は「どのようにご存知なのですか」と問うた。すると鳥羽天皇は、「ほ」文字の「り」文字のことを、思い出したのでしよう」と仰せになるではないか。堀河院の御ことよくおわかりでいらつしやるのだ。可愛くて、悲しみも薄らぐ気持ちがして、私はつい笑顔になつてしまった。

「ほ」文字の「り」文字」とは、堀河院の最初の二字「ほり」で、これだけで堀河院を意味する。彼は崩御の五日後に「堀河院」と追号されたので、鳥羽天皇は父をその名で呼んだのである。こうした「文字」という婉曲表現は一般に「女房詞」と呼ばれ、現代語でも杓子しゃくしを呼ぶ「しゃもじ」やカツラを呼ぶ「かもじ」などの語に残っている。「堀河院」と呼ばず遠まわしの呼び方をしたのは、鳥羽天皇が六歳と幼かつたからだろうか。それとも故人に配慮して、露骨に名を呼ぶことを避けたのだろうか。いずれにしても、鳥羽天皇は幼いながらに長子の喪失感を見て取つていたのである。壁の痕跡を見た最初は、それが堀河院の貼つた樂譜の跡だということ、鳥羽天皇は知らなかつたに違いない。だが長子が涙ぐんだ時、鳥羽天皇は少なくとも、それが何か父の生前の痕跡であることを感じ取つたのである。だから、長子の顔をじつと見た。そして父の名を口にした。

思えば鳥羽天皇も幼くして父を亡くしたのだから、抱えた痛手は測り知れない。

長子と鳥羽天皇は、等しく激しい喪失感を抱く者同士だった。長子は一人ではなかった。六歳の鳥羽天皇と心が触れ合って、長子は笑った。それは『讃岐典侍日記』に記される限り、再出仕してこのかた初めての笑みだった。

長子は、堀河院の生きた痕跡を鳥羽天皇と分かち合うことによって救われた。その時、痕跡とは「記憶」と言い換えてもよい。人はたとえ命尽きても、遺された者の記憶の中で生き続ける。堀河院は長子と鳥羽天皇二人の中で生き続けたのである。長子はこの後、女官として鳥羽天皇の傍に仕え続け、忠義を尽くした。

(山本淳子「古典モノ語り」)

※1 追憶……過去に思いをはせること。

※2 崩御……最高権力者が亡くなること。

※3 出仕……役所などに勤めに出ること。

※4 朕……国を治める人物の自称。

※5 朝餉……天皇の日常の食事。朝餉の間の略称。

※6 夜の御殿……天皇の寝室。

※7 内裏……天皇の住居とその周囲の官庁一帯。特に天皇の私的な区域。

問一 —— 線部 a、b をそれぞれ全て現代仮名遣いのひらがなで書きなさい。

問二 —— 線部 1 「御覽ぜ」 3 「笛の音」とありますが、誰に関係する内容ですか。最も適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 鳥羽天皇    イ 堀河天皇    ウ 白河天皇    エ 宇多天皇

問三 —— 線部 2 「押されたる跡」とありますが、具体的には何のことですか。口語訳の文章から適切な部分を三十四字で探して最初と最後の五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

問四 —— 線部 4 「かなしくて袖を顔に押しあつる」とありますが、どのよ

うな理由ですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 幼い鳥羽天皇に出仕することが体方面では厳しかったから。

イ 鳥羽天皇の見た目や言動が亡き先帝に非常に似ていたから。

ウ 壁の跡を目にしたことで慕っていた先帝を思い出したから。

エ 鳥羽天皇の前であくびした無礼さを厳しく注意されたから。

問五 —— 線部 5 「みな知りてさぶらふ」とありますが、どのようなことを知っていますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 長子が抱え続けている辛い思いの理由と幼い鳥羽天皇が優れた能力をもった帝であること。

イ 長子が壁を見て作った和歌の評価と亡き父のような政治を鳥羽天皇も行うべきであること。

ウ 生前の父の笛の演奏力と故人に配慮して遠回しな女房詞で呼び名を表現すべきであること。

エ 寝室の壁を見て長子が涙ぐんだ理由と目にしたものが生前の父に関連する何かであること。

問六 —— 線部 6 「ほものりもじ」とありますが、誰のことですか。本文中から適切な部分を漢字三字で探して書き抜きなさい。

問七 —— 線部 7 「笑まるる」とありますが、笑顔になることにはどのような背景があったとされていますか。解説の文章から適切な一文を二十三字で探して最初と最後の五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

問八 『讃岐典侍日記』は平安時代に貴族の女性によって書かれた日記とされています。貴族の女性以外によって書かれた古典文学として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 源氏物語    イ 枕草子    ウ 更級日記    エ 徒然草



